

Open SDV Initiative の 運営規則と参加方法

2024年6月

名古屋大学 大学院情報学研究科
附属組込みシステム研究センター
クレスコSDV研究室

<https://www.nces.i.nagoya-u.ac.jp/osdvi/>

運営規則上の目的と組織形態

目的

- ▶ Software-Defined Vehicle (SDV) に関する研究開発, 標準化, 人材育成を実施すること

活動内容

- (1) SDVに関する調査, 研究, 技術開発, 仕様開発, ソフトウェア開発, 標準化活動
- (2) SDVに関する人材の育成, 教材の開発と提供, 技術情報の提供
- (3) 上記の取り組みに附帯または関連する取り組み

組織形態

- ▶ 名古屋大学のクレスコSDV研究室(法人としては, 国立大学法人東海国立大学機構)が主催する活動
注) 名古屋大学は, 東海国立大学機構が設置する大学の1つ

参加資格とリソース負担

参加資格

- ▶ 法人格を持った組織
 - ▶ 運営規則(知財の取り扱いを含む)に合意すること

リソース負担

- ▶ 活動に対して人的リソース(活動に取り組む技術者)を出すことを要請する(必須とはしない)
- ▶ 活動に参加するための会費はなし
 - ▶ ただし, 技術者が名古屋大学に常駐して活動に参加する場合には, 常駐にかかる費用の負担をお願いする(1人年額60万円程度)
 - ▶ ITシステムの運用経費負担をお願いする可能性がある
- ▶ 活動のために自組織(自組織の技術者)が使う経費は自組織で負担する(手弁当)

参加手続き

参加申請

- ▶ 参加申請書に、住所、法人名、代表者氏名を記入し、押印してください
 - ▶ 代表者は、法人の代表者でなくても、法人を代表して契約を締結する権限を持った方であればOKです
- ▶ 参加申請する旨を、メールにてご連絡ください
メール送付先: osdvi-sec@nces.i.nagoya-u.ac.jp
 - ▶ その際に、連絡窓口となる方(複数でも結構です。研究担当者はこれとは別に登録いただきます)のお名前、住所、メールアドレスをお知らせください
- ▶ 記入・押印した参加申請書を、以下に郵送ください
〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学 大学院情報学研究科
附属組込みシステム研究センター

参加承認

- ▶ 参加申請書下部の参加承認欄に押印したものを、連絡窓口となる方に返送させていただきます

参加組織の公表

- ▶ 参加組織の一覧は、ウェブサイトから公表させていただきます

知財の取り扱い (概要)

公開する成果とバックグラウンド知財

- ▶ 活動で策定したインタフェース仕様は、公開する
- ▶ 公開した成果を利用するために必須となる知財は、参加組織間では無償許諾とする(留保条件あり)
 - ▶ AUTOSARと同じ考え方

その他の成果(開発したソフトウェアなど)

- ▶ 成果の創出に貢献した参加組織で共有
- ▶ 成果の創出に貢献した参加組織は、成果を無償で使用できる
 - ▶ 他の参加組織は、研究目的に限って無償で使用できる
- ▶ 名古屋大学は、参加組織や第三者に、成果を有償または無償でライセンスできる
 - ▶ 有償の場合、持分割合に応じてライセンス料を分配

その他

脱退と解散

- ▶ 参加組織は、3ヶ月前に名古屋大学に脱退を申し入れることで、活動から脱退できる
- ▶ 名古屋大学は、3ヶ月前に参加組織に通知することで、活動を解散できる